

財政状況の公表

財政状況の公表は、皆さんが納めた税金（市税）や国・県からの支出金、市債などが、わたしたちの暮らすまちにどのように使われ、各事業にどれくらいの費用がかかっているかなどをお知らせするものです。

財政の「今」を公表

平成22年9月30日現在の市財政状況を公表します。この公表は、市の財政がどのように運営されているか、どのような状況にあるのかを、市民の皆さんに知っていただくため、年2回行うものです。

21年度決算は、広報おうしゅう10月号でお知らせしましたので、今回は22年度の予算・市有財産・市債の状況などを公表します。市財政を理解する資料としてご活用ください。なお、詳細は、財政課各総合支所総務企画課、市ホームページで公表しています。そちらをご覧ください。

市税と借入金の状況

21年度の市税収入（個人市

民税・法人市民税・固定資産税など）の合計額は、125億909万円です。

一方、22年9月30日現在の借入金現在高（一般会計）は768億2709万円となっています。一世帯あたり、市民一人当たり直すと、下の図のとおりです。

※ 市税収入は22年3月末現在の人口と世帯、借入金現在高は22年9月末現在の人口と世帯で計算。

借入金は、長期にわたって使用する公共施設などを整備するための財源です。返済を長期間に分割することで、世代間の負担の公平、財政負担の年度間調整を行っています。

■問い合わせ 本庁財政課 政係（内線322・324）

一 姉妹都市掛川市に奥州市が訪問

市は11月22日・23日、ことし2月に姉妹都市を締結した静岡県掛川市へ公式訪問団を派遣し、交流を深めました。

22日の首長会談では、産業、文化・芸術、教育、相互訪問情報分野で交流を進める事業計画書に署名。松井三郎掛川市長からは「特産品である掛川茶と南部鉄器による商品開発を」と提案があり、小沢昌記市長は「人口・財政規模が似ていることから、互いに切磋琢磨できるのではないかと、今後の交流に期待を



小沢市長と松井三郎掛川市長が交流事業計画書を交換



奥州市の産物が掛川市にお目見えしました

また、東海地方で、大地震の発生が懸念されていることから、両市が締結した災害協定の意義について、改めて確認しました。

23日、訪問団は掛川農業祭にも参加。奥州米や江刺りんごなどの特産品を無料で配布し、会場には掛川市民の長蛇の列ができました。掛川市内の産直などで同時開催されていた「奥州市物産フェア」も盛況で、本市の物産の人気の高さがうかがえました。

今後、掛川市とは、物産交流やキッズミュージカルの交流などが予定されています。

市有財産の状況

土地 7,772万9,955㎡



車両など 584台



建物 61万9,311㎡



基金・有価証券 228億9,657万円



市税、借入金の負担状況



平成22年度予算の状況

（単位：万円）

区分	当初予算	3月補正 (当初追加)	繰越額	6月補正 (追加含)	9月補正 (追加含)	合計
一般会計①	507億8,590	13億7,128	38億 584	▲3億7,657	28億4,265	584億2,910
国 事業勘定	122億 210	—	—	—	803	122億1,013
特 直営診療施設事業勘定	10億3,043	—	—	4,076	218	10億7,337
別 老人保健	42	—	—	—	554	596
会 後期高齢者医療	9億 210	—	—	103	—	9億 313
計 事業勘定	83億 820	—	—	1,732	4,260	83億6,812
介護 介護サービス事業勘定	3億5,048	—	—	203	356	3億5,607
簡易水道事業	14億2,105	—	148	—	1億3,433	15億5,686
下水道事業	32億6,040	—	—	1億1,374	977	33億8,391
農業集落排水事業	13億3,096	—	—	2,341	567	13億6,004
浄化槽事業	4億 46	—	—	▲2,183	—	3億7,863
バス事業	9,325	—	—	—	—	9,325
米里財産区	1,237	—	—	—	—	1,237
特別会計②	293億1,222	—	148	1億7,646	2億1,168	297億 184
合計（①+②）	800億9,812	13億7,128	38億 732	▲2億 11	30億5,433	881億3,094

二 一箱百万円、江刺りんご初競り価格が全台を突破



100万円の価格がついた「サンふじ」

江刺りんごの主力品種「サンふじ」の初競りが11月13日、盛岡市中央卸売市場で行われました。

出品されたリンゴは「サンふじ」333箱、「シナノゴールド」398箱。威勢のいい掛け声で次々と競りにかけられ、最高品質のサンふじ特選28玉（10キ）には過去最高となる100万円の値が付きました。

した。過去の最高額80万円（21年度）を大きく上回る高値に、市場関係者からは、大きな拍手がわきあがりました。ことしのリンゴの生育は、春先の低温と例年にない夏の暑さで小玉が目立ちました。収穫量は昨年の約8割と見込まれるものの、みつや糖度、色づきなどの品質は上々の出来栄だそうです。

一 市内の2人がめでたく百歳

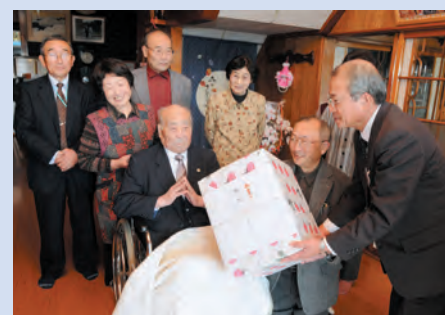
市は、11月に満百歳を迎えた2人に記念品を贈り長寿を祝いました。

菊池フミさん 江刺区栄町Ⅱは、同区南町に生まれ19歳で故・登さんと結婚。1男5女をもうけ、孫9人、ひ孫9人に恵まれました。縫い物が上手で、呉服屋から和裁を請け負うほどの腕前。好き嫌いが無く、くよくよしないことが長生きの秘訣です。「百歳を迎えて夢のよう」と話していました。

小野寺十治さん 胆沢区



5日 フミさんを囲んで記念写真



10日 十治さんを祝う胆沢総合支所長

の発展に尽力しました。家の裏に土俵を作るほど相撲が好きで、地域の子どもたちに相撲の手ほどきをしたそうです。